

運動会から研究大会へ

～専科・教科担任による授業の充実～

副校長 齊藤 誠

5月15日に運動会を開催してから半月が過ぎました。保護者の皆様には、学年ごとに入れ替え制での参観でしたが、お子様の頑張りを応援していただきましてありがとうございました。



子供たちは、普段から、全力の頑張りを見せてくれますが、本番では、頑張りだけではなく、適度に緊張しながらも楽しんで活動している様子が見られました。

御家庭でも、お子様の努力や頑張りを褒めてくださったり、よくできたことを一緒に喜んでくださったりしていると思います。賞賛や喜びの共有は、確実にお子様を成長させていますね。

さて、運動会は、運動会の練習や本番の活動をとおして体力を高めていく体育としての側面と、集団が一つのまとまりとして組織的に行動し、創意工夫する特別活動としての側面があります。そのため、体育を指導する教科担任と学級集団を指導する学級担任が連携しながら、運動会を一つの契機としてお子様一人一人の力を高めてきました。

本校では、音楽、図工で専科教員（担任をもたずに教科の指導に専念する）による授業を、算数、理科、体育や多くの教科で教科担任（学級担任をもちながら他の学級の教科の指導も行う）及び講師による授業を実施しています。そのため、附小っ子は、学級担任によるサポートを土台に、多くの教科で「教科の専門家」による授業を受け、各教科等の力を高めています。



例えば、算数の授業では、算数の知識や技能の向上に加え、既に学習したことを基に新たな課題を解決する力、根拠を明確にして論理的に説明する力も高めています。外国語では、「何を伝えるために、この英語を学ぶのか」、「うまく伝わるようにするためにはどのような工夫を

する必要があるのか」など、目的意識や相手意識をもって英語でコミュニケーションを図る力を高めています。これまでの本校の授業でも、このような資質・能力を高める授業を進めてきましたが、専科・教科担任の授業では、これまで以上に質の高い授業を目指し、教員も研鑽を重ねています。



6月といえば、附属小学校では、「研究大会の月」です。コロナ以前には、500名ほどの教員が全国から集まり、教室内に2列3列になって授業を参観し、よりよい授業の在り方について激論を交わしていました。保護者の皆様にも、受付や参加者の控え室、会場準備、来賓の接待など、様々な役割でお手伝いをいただいております。

昨年度からは、オンラインで研究大会を開催しており、これまで以上に広域から参観者を集めて授業改善のための協議をしています。コロナ禍になってからは、「保護者の皆様に研究大会のお手伝いをしていただきながら、研究大会の授業の様子も御覧いただく」という機会がとれませんが、教科担任を担当している教員の授業の一部を動画で御覧いただけるようにしましたので、どうぞ御覧ください。

【動画紹介】

昨年の秋からこの春までに行った、本校の授業の一端を動画で紹介します。

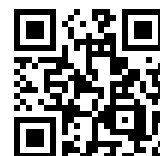
現在、動画を編集中です。完成しましたら、順次QRコードを掲載しますので、少々お待ちください。

※QRコードを読み取るか、QRコードの上からクリック(タップ)してください。

- ・現6年生の昨年秋の算数の授業です。学ぶ力を高めた5年生(当時)は、6年生になってからも、「知的な楽しさ」を味わう毎日です。



- ・5年生の外国語の授業です。これまでの授業で身に付けた力を発揮して、休み時間に校長先生に英語でインタビューをしました。



- ・子供たちは気付いていませんが、「ちょっとした授業の工夫で運動が楽しくなる」という経験を積み重ねています。

Coming
soon

- ・「大きな声で歌ったり、リコーダーを伸びやかに演奏したり」できるようになる日まで、今できる音楽を楽しんでいます。

Coming
soon

- ・画家の作品鑑賞をした後、有名画家の技法を自分の作画に取り入れ、作品作りを楽しんでいます。

Coming
soon